【総括表】

用途	介護予防拠点施設

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	老人憩の家あさひ荘	加塩町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの６年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、高齢者の生きがいづくりや介護予防活動を推進するための施設である。また各種研修会や趣味の活動の場としても利用可能である。

そのためには劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら計画的な施設の維持保全を進めていくことが重要である。

【個別表】

1	施設名	老人憩の家あさひ荘

1　施設の概要

所在地	加塩町	延床面積	448.05 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
第１あさひ荘	S 造	1999	198.78	1 階	
第２あさひ荘	W 造	1975	222.17	1 階	
機械室兼倉庫	CB 造	1975	27.10	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は一部の棟では築後４６年が経過しているが、２０１２、２０１７年度に屋根外壁延命化修繕工事が行われており、健全な状態を保っている。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと思われる。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な方針
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	□：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	特になし。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。